

2020年度後期 授業評価アンケート集計結果表 【国際感染症学院科目分】北海道大学

回答者数 13

No.	設問文	平均	度数（人）／構成比（％）					有効回答	無効回答
			1	2	3	4	5		
			全く思わない	そうは思わない	どちらでもない	そう思う	強く思う		
A1	この授業の自分の出席率は（ ）％程度であった。	5.00	ほぼ20% 0 0.0%	ほぼ40% 0 0.0%	ほぼ60% 0 0.0%	ほぼ80% 0 0.0%	ほぼ100% 13 100.0%	13	0
A2	質問、発言、調査、自習などにより、自分はこの授業に積極的に参加した。	4.15	1 7.7%	0 0.0%	1 7.7%	5 38.5%	6 46.2%	13	0
A3	この授業1回（講義の場合90分）のための予習・復習に費やした時間（授業以外の修学時間）は平均（ ）であった。	1.92	30分以下 5 38.5%	1時間 5 38.5%	2時間 2 15.4%	3時間 1 7.7%	4時間以上 0 0.0%	13	0
A4	私はシラバスの到達目標を達成できた。	4.08	0 0.0%	0 0.0%	3 23.1%	6 46.2%	4 30.8%	13	0
A5	シラバスは、授業の目標、内容、評価方法を明快に示していた。	4.15	0 0.0%	0 0.0%	2 15.4%	7 53.8%	4 30.8%	13	0
B1	授業は全体として満足できるものだった。	4.23	0 0.0%	0 0.0%	1 7.7%	8 61.5%	4 30.8%	13	0
B2	この授業は、博士論文研究を遂行する上で役に立った。	4.00	0 0.0%	0 0.0%	2 7.7%	9 61.5%	2 30.8%	13	0
B3	この授業は、自分の専攻や関連分野における専門知識の修得に役に立った。	4.31	0 0.0%	0 0.0%	1 7.7%	7 53.8%	5 38.5%	13	0
B4	授業はシラバスに沿って行われていた。	4.38	0 0.0%	0 0.0%	1 7.7%	6 46.2%	6 46.2%	13	0
B5	授業で要求される作業量（レポート、課題、予習、復習など）は適切であった。	4.31	0 0.0%	0 0.0%	1 7.7%	7 53.8%	5 38.5%	13	0
C1	授業内容の難易度は適切であった。	4.23	0 0.0%	0 0.0%	1 7.7%	8 61.5%	4 30.8%	13	0
C2	教員の説明はわかりやすかった。	4.31	0 0.0%	0 0.0%	1 7.7%	7 53.8%	5 38.5%	13	0
C3	教員は効果的に学生の参加（発言、自主的学習、作業など）を促した。	4.31	極めてやさしい 0 0.0%	やさしい 0 0.0%	適切 1 7.7%	難しい 7 53.8%	極めて難しい 5 38.5%	13	0
C4	教員は学生の質問・発言等に適切に対応した。	4.38	0 0.0%	0 0.0%	1 7.7%	6 46.2%	6 46.2%	13	0
C5	黒板、教科書、プリントやAV機器等の使われ方が効果的であった。	4.31	0 0.0%	0 0.0%	1 7.7%	7 53.8%	5 38.5%	13	0

